

【別添】特記仕様書（記載例）

BIM/CIM 適用工事特記仕様書【発注者指定型】

第〇条 BIM/CIM 適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（発注者指定型）である。

以下に示す項目について、3次元モデルを活用する。詳細については、受発注者間で協議し、実施する。

受注者が希望する場合、発注者が示す項目以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、当初は計上していない。受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

項目1 (例) ※選定した活用内容に応じて変更

活用内容：施工計画の検討補助

活用内容の詳細：詳細設計等で作成された3次元モデルを閲覧し、施工計画を検討する際の参考にする。

項目2 (例) ※選定した活用内容に応じて変更

活用内容：重ね合わせによる確認

活用内容の詳細：3次元モデルに複数の情報を重ね合わせて表示することにより、位置関係にずれ、干渉等がないか等を確認する。本工事では、建築限界及び構造物等と官民境界の位置を確認する。

(参考) 3次元モデル作成の目安 (例) ※選定した活用内容に応じて変更

詳細度：200～300程度※¹

※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル

属性情報：3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する（BIM/CIM 取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照）。

1 BIM/CIM 実施計画書の作成

3次元モデルの活用について、以下の内容を受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施計画書を作成する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成したBIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

1) 工事概要

- 2) 3次元モデルの活用内容（実施内容、期待する効果等）
- 3) 3次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの仕様等）
- 4) 3次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- 5) 3次元モデルの作成担当者
- 6) 3次元モデルの作成・活用に要する費用

2 BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づく3次元モデルの活用について、以下の内容を記載したBIM/CIM 実施報告書を作成する。

- 1) 工事概要及び3次元モデルの活用概要（実施概要、期待した効果の結果等、期待した効果が十分に得られなかった場合の考察を含む）
- 2) 作成・活用した3次元モデル（作成範囲、詳細度、属性情報、基準点の情報等）
- 3) 後段階への引継事項（対応する無償ビューワーの種類、2次元図面との整合に関する情報、活用時の注意点等）
- 4) 成果物
- 5) その他（創意工夫内容、基準要領に関する改善提案・意見・要望、ソフトウェアへの技術開発提案事項等）

3 成果の納品

以下の内容を「電子納品運用に関するガイドライン」に基づき電子成果品として納品する。

- 1) BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）
- 2) BIM/CIM 実施報告書（引継書シート、照査時チェックシート含む）
- 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）

4 貸与資料 ※貸与する業務等がある場合に記載

本工事に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルがあり、貸与することができる。

- ・ R6〇〇業務

5 その他

最新の情報はBIM/CIM ポータルサイトで提供されているので、適宜参照すること。

BIM/CIM 適用工事特記仕様書【受注者希望型】

第〇条 BIM/CIM 適用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（受注者希望型）である。

受注者が希望する場合、3次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し実施する。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

（参考）3次元モデル作成の目安 **（例）※想定する活用内容に応じて変更**

詳細度：200～300程度※¹

※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル

属性情報：3次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する（BIM/CIM 取扱要領「附属資料2 オブジェクト分類」を参照）。

1 BIM/CIM 実施計画書の作成

3次元モデルの活用について、以下の内容を受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施計画書を作成する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成したBIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

- 1) 工事概要
- 2) 3次元モデルの活用内容（実施内容、期待する効果等）
- 3) 3次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの仕様等）
- 4) 3次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- 5) 3次元モデルの作成担当者
- 6) 3次元モデルの作成・活用に要する費用

2 BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づく3次元モデルの活用について、以下の内容を記載したBIM/CIM 実施報告書を作成する。

- 1) 工事概要及び3次元モデルの活用概要（実施概要、期待した効果の結果等、期待した効果が十分に得られなかった場合の考察を含む）

- 2) 作成・活用した3次元モデル（作成範囲、詳細度、属性情報、基準点の情報等）
- 3) 後段階への引継事項（対応する無償ビューワーの種類、2次元図面との整合に関する情報、活用時の注意点等）
- 4) 成果物
- 5) その他（創意工夫内容、基準要領に関する改善提案・意見・要望、ソフトウェアへの技術開発提案事項等）

3 成果の納品

以下の内容を納品する。様式について別添資料を参照すること。

- 1) BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）
- 2) BIM/CIM 実施報告書（引継書シート、照査時チェックシート含む）
- 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）

4 貸与資料 **※貸与する業務等がある場合に記載**

本工事に関連する以下の業務等において作成した3次元モデルがあり、貸与することができる。

- ・ R6〇〇業務

5 その他

最新の情報はBIM/CIMポータルサイトで提供されているので、適宜参照すること。